

就職関係の「採用試験」では、一般的に「面接」「一般教養（能力）試験」「適性検査」が行われます。そのとき、企業によっては「一般教養（能力）試験」「適性検査」の代わりに「SPI 実施」と説明されることがあります。「SPI」とは、一体何なのでしょう？

今回のテーマ

〈SPI とは？〉

I SPI とは、民間会社が開発した「（能力＋適性）検査」の名前である。

- ① 各企業が毎年独自に試験を作成する労力を省くために開発された。
- ② 検査結果が PC 処理で、速やかに正確にわかる。
- ③ 企業には、検査結果が「他の企業と同じ」という安心感がある。

II 高校生用は、「SPI-H」だが、「SPI-N」というタイプもある。

- ① 「SPI-H」が一般的な職業に対する検査とされる。
- ② 「SPI-N」は事務職に特化された検査で、事務処理能力が試される。

III 「SPI-H」は、「言語」と「非言語」の2分野で構成される。

- ① 「言語」は主に国語。語彙力と漢字能力が試される。
- ② 「非言語」は主に数学。計算、比率、確率、関数等が出題される。
- ③ 「非言語」では、数学の他に「推論（推理問題）」が出題される。

IV 「適性検査」は、①②のように、質問に回答する。

- ① ふたつの事例 A と B で自分に近い方を選ぶ。
- ② ひとつの事例で、自分が当てはまるかどうかを回答する。
- ③ 性格判断でもあるので、なるようにしかならない。

V 「SPI-H」克服のポイントは、「慣れろ！」

- ① 特に準備しなくても、それなりにわかる問題もあるが…。
- ② 短期間で、どうにかできるものではない。
- ③ 直前になってどうこう考えるより、普段からスマホのアプリを利用してトレーニングしておくことが大事。
特に「言語」は、やれば確実にレベルアップできる。